



市長選 皆川おさむ氏当選

8日告示15日投開票の鶴岡市議選で加藤鉦一氏は1,764票を獲得。日本共産党の5人が全員当選を果たしました。

鶴岡市長選挙では党が支援した新人の皆川治氏が4万2,443票を獲得。現職の櫻本政規氏に1万1,182票の大差をつけて当選しました。

## 合併建設計画の着手率 市町村個別事業は7割台

加藤鉦一議員が8月末に求めていた鶴岡市の「合併建設計画主要事業の実施状況」について、ようやく10日に市の政策企画課から資料提出されました。合併建設計画では、合併後10年間の投資事業770億円のうち主要事業は605億円で、平成29年8月25日現在、新市全体に関わる「特定事業」に208億円、合併前からの継続事業である「市町村個別事業」は397億円とされています。平成27年3月に見直しされ、5年延長し平成32年度までとしました。平成29年8月25日現在、

【建設計画主要事業の実施状況】（平成29年8月25日現在）（単位：件）

	特定事業	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域	地域計
事業数	22	22	12	17	41	19	19	130
完了	13	15	6	8	16	15	17	77
実施中	1	5	2	4	5	3	0	19
実施予定	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	8	2	4	5	20	1	2	34
着手率	63.64%	90.91%	66.67%	70.59%	51.22%	94.74%	89.47%	73.85%

【着手率：（完了+実施中）/事業数】

在で、「特定事業」の着手率は件数で63・64%、金額では未集計です。

「市町村個別事業」は同73・85%です。「市町村個別事業」の着手率は、鶴岡地域が90・91%、一方櫛引地域は51・22%、藤島地域は66・67%で差が歴然としています。

合併時の建設計画にはなかつた鶴岡市文化会館改築事業が26年度に着手され、総事業費96億7600万円で合併特例債63億4600万円が充てられ、その影響で旧町村との合併にされたと言えま

す。縄は全く役立たない。

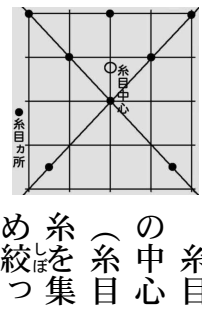
## 庄内地方の凧文化 ③

たこ凧あがれ！

伝統を繋ぐ作り方・揚げ方のすべて(三) 鈴木隆（小中島）

### 糸目と糸目の中心取り（前号の続き）

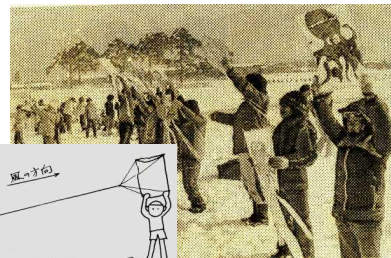
糸目（凧の表側に付け、揚がりやバランスを調節する糸）は、紡績糸の30番手（綿糸20番を30本撚ったもの）、長さは凧の1.5倍位、取り付けは8ヶ所。



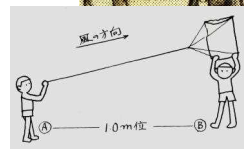
た時、凧と接した点附近になることが目安で、強い風の時はそれより上方へ、弱い風では下方へ調整する。糸目糸は集めて先端を軽く結ぶ。

### 揚げ方

凧の糸目糸に揚げ糸の36番手を結び、相手に10m程離れた所で凧を両手で上にあげてもらう。尾は凧の手前に揃えて置く。



凧揚げ直前 昭和50年頃



いい風をみて台図とともに凧を離す。風は上方ほど強く吹いているので少し走りながら糸を徐々に延ばし、凧を少しでも上にもって行くようにする。

### 不具合の調整

- ★凧がクルクル回転するのは糸目糸が短か過ぎる為で、長くする。
- ★一方へ傾く時は糸目の中心が反対側に偏っている為で、中心にくるように調節する。
- ★左右に大きく首を振るのは尾が短い為であり、長く足す。
- ★凧がおじぎする（水を汲む）のは一番上の糸目が短い為で、少し延ばして糸目の中心を下方へ修正する。
- ★凧が低く、仲々高く揚がらない場合は、糸目の中心が下方過ぎる為で、中心を上方へ調節する。（完）



# ある中国残留孤児の生涯⑦

新町 齋藤留治

萎む希望と膨らむ希望

に残している方も多いかと思えます。)

その日暮らしのような生活の中でも懸命に私(S男)を育ててくれる養父の願いにも拘らず、私は学校に行けば虐められ、ついに私を見かねて養父は私を学校に行かせる事を諦めました。

(日本の敗戦後、中国では蒋介石の「国民党軍」と毛沢東の「共産党軍(八路軍)」による内戦が始まり、混乱の時代が数年間続いたので、学校どころではなかったのかもしれないが、)

私の義理の伯母も従軍看護婦として満州に渡っていたが、日本軍の行った残酷な行為の罪を償わねばと十数年間満州の地に留まった。伯母の話によると、自分のように残った看護婦さんは沢山いたそう、年端もいかなない少年達が戦闘で負傷して救護所に運ばれ、家族と思われる名前を口走って息絶えていく姿を見るのは可哀そうである。

政治が安定しない満州では、自分達が所要の為に外出する時も、必ず車と護衛兵が同行してくれていたそうである。(敗戦後、罪に苛まれ日本に帰国することを諦めて仏の道に入り、供養を続けた旧日本兵を描いた著書「ビルマの豎琴」が映画化され、画面から流された「埴生の宿」のメロディー記憶



学校を辞めた私は、13歳の頃から羊と豚の飼育(放牧)をやり、冬は麦の粉を作りました。

14歳になった春からは、牛を引つ張り牛車で麦粉を街まで運ぶ仕事をしていました、やがて15歳になり本格的に農業をやることになって、与えられた仕事は馬車で荷物運びをすることでした。

日本に帰れるか、この先どうなるのか不安を抱えながらの生活でしたが、私もそろそろ結婚適齢期になったので嫁を貰えと養父母は勧めてくれたが、「中国人と結婚すると日本人は帰国できなくなる」と、近くに住んでいた日本人の知人に言われて躊躇していたが、25歳になり中国人と結婚することになりました。自分の生まれた祖国は日本、一日たりとも祖国を忘れる事はあり

ませんでした。やがて中国では文化革命がはじまり、祖国の地を踏む希望は萎むばかりでした。

(希望とは誰にとっても心地よい言葉ですが、つい一カ月位前までは飛び鳥を落とす勢いの「小池希望の党」は本性が現れて劇場は萎むばかり、一方鶴岡市では独断市政に終わりを告げ、新しい希望が生まれようとしている。

私の拙文をボツにもせず掲載をさせていただいている「民報」の編集長、加藤鑛一さんの頑張りには頭が下がる思いで一杯ですが、全員当選を果たした共産党議員さん達と力を合わせ、市民に託された希望をなお膨らませるよつ頑張つて欲しい。)



市議選投票日翌日の16日、全員当選した5人の党市議団が市文化会館前であいさつ。

## 平和・平和。戦争ノー！戦争ノー！

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

本号発行日はちょうど総選挙投票日である。このコラムを読んで、もし私が心配している感覚・考えをお持ちであれば考え直して欲しい。そんな憂国の思いで書いている。権威ある米ギヤラツプ社世論調査を見て深刻な気持ちに襲われた。主要国も含む世界十数

力国の北朝鮮問題の世論調査である。平和的解決か軍事的解決かの二者択一の単純明快な問である。「平和的解決」は、ロシア96%、ドイツ92%、ブルガリア91%などで欧州は90%以上。直接関係をもつ国・地域でも、米国75%、韓国66%、香港71%である。ところが日本は51%と最低である。

これだけではにわか信じがたいが、「中(あたらずと雖(いえども)遠からず」と思う。体罰は近年処罰を受ける



### 殺すなかれ

先の戦争は、広島・長崎の原爆投下を受けて終わりを決断したのだろう。8月15日にポツダム宣言の無条件受諾で敗戦となった。

▲日本の外側、つまり派兵していた占領地で全滅が続き、その後沖繩をとられ、首都東京で大空襲があったのが3月10日だ。酒田にもあったというし、釜石は遠く太平洋側だが、その音がここまで聞こえたという話も。

▲そのころは、戦争のプロがいた。職業軍人と言つた人たちだ。そんな彼らが、首都が襲われるようになっても参つたとしなかったのは何故だったのかを検証したことがあったのか。俺は知らない。

▲少なくとも、東京が襲われてから早い決断があれば、広島・長崎は無かったのだとは誰

が、「甘やかしはダメ、叩かねば」という風土はまだ根強いし、「力には力」の風潮もあるからだ。

安倍流に言えば、「對話は甘い、圧力・力(軍事力)だ」ということになる。演説で「北朝鮮の脅威から…国民の命を守っている自衛隊の諸君ですよ」「そんな自衛隊から違憲の疑いをなくすことは、私たちの世代に課せられた責任」だと言う。一人の票が日本を変える。

でも気が付くことだろう。と共に、戦争の総括を、国をあげてする必要は幾度も指摘されているんだが、それが出来ないから戦争法などが出来るんだぜ。今の平和が危険な状況にあるのも原因はそこにあると思つている。

▲戦争の反省をしたのは「仏教界」だと聞いている。時は政党も解散し全てが戦争へと集中する翼賛政治の流れの中では、仏教界もこれに逆らえられなかった。命を尊び平和を愛する仏の教えを守れなかつたことを悔やんだのでしよう。

▲全てを自民党と同じにする公明党は、支持母体が宗教団体だとは誰でもが認知している処。ある人から、公明党の党首が戦争法に賛成していることに、その宗教団体は「モンクネーナダモンダロウカ」とは、市議選で出された言葉でした。(石川)